

Code Orange

—Save Life—

	代表者	木本義敬 (医学B 4年)
構成員	今井智子 (医学B年) 岡本彩 (医学B 6年) 柏原彩乃 (医学B 6年)	
	近藤萌 (医学B 6年) 新庄英梨子 (医学B 6年)	
	富永和花 (医学B 6年) 中島京 (医学B 6年)	
	瀬戸口尚登 (医学B 6年) 縄田慈子 (医学B 6年)	
	西田拓人 (医学B 6年) 森麻里母 (医学B 6年)	
	田村有里 (医学B 6年) 永久成一 (医学B 5年)	
	佐村美穂 (医学B 5年) 浜辺龍太郎 (医学B 5年)	
	河生多佳雄 (医学B 5年) 矢田祥子 (医学B 5年)	
	中嶋亮介 (医学B 5年) 西田彩華 (医学B 5年)	
	上野真帆 (医学B 4年) 大神綾夏 (医学B 4年)	
	木村剛 (医学B 4年) 佐伯晋吾 (医学B 4年)	
	坪根咲里依 (医学B 4年) 戸川文子 (医学B 4年)	
	仲野優 (医学B 4年) 水野ちづる (医学B 4年)	
	宮崎由依 (医学B 4年) 高浜麻衣 (医学B 4年)	
	鈴木潤一 (医学B 4年) 遠山直弥 (医学B 4年)	
	小林諭史 (医学B 4年) 佐藤奈緒 (医学B 3年)	
	堀江ゆうか (医学B 3年) 飛田野篤 (医学B 3年)	
	吉村知佳子 (医学B 3年) 薬師寺真生 (医学B 3年)	
	板坂美里 (医学B 3年) 山元かなえ (医学B 3年)	
	東花奈子 (医学B 3年) 久保直登 (医学B 3年)	
	川口晃 (医学B 3年) 下栗佳那美 (医学B 3年)	
	當間優生 (医学B 3年) 桃原華 (医学B 3年)	
	渋谷渚 (医学B 3年) 山中雄城 (医学B 3年)	
	相内志津子 (医学B 3年) 酒匂優嘉 (医学B 3年)	
	土肥聖美 (医学B 3年) 金谷妃呂子 (医学B 3年)	
	久松健人 (医学B 3年) 星澤早紀 (医学B 3年)	
	恵美拓也 (医学B 2年) 高越寛之 (医学B 2年)	
	上田誠也 (医学B 2年) 堀聖弥 (医学B 2年)	
	加藤幸多 (医学B 2年) 植村愛子 (医学B 2年)	
	岡本菜奈 (医学B 2年) 倉田こなつ (医学B 2年)	
	荻田雅子 (医学B 2年) 朴華永 (医学B 2年)	
	馬場悠花里 (医学B 2年)	

1. 2015 年度上半期を振り返って

今年度上半期は以前から行ってきた活動に加え、新たなイベントにも数多く参加し、新しく加入したメンバーと共に、日々成長しながら BLS の普及活動に励むことができた。

2. 2015 年度上半期の主な活動内容

- 1) 組織運営の引き継ぎ
- 2) 新規メンバーの募集活動
- 3) QCPR キャラバンへの参加

- 4) ツール・ド・山口湾 2015 での救護ボランティア
- 5) 2nd Yamaguchi BLS&First Aid ワークショップの開催
- 6) 部活動講習会
- 7) 七夕祭での BLS 講習会
- 8) その他定期活動

3. Code Orange 内での活動

1) 組織運営の引き継ぎ

本年度も昨年度からの体制を引き継ぎ、プロジェクト毎にプロジェクトリーダー（以下、PL）を設定し、その PL が中心となってプロジェクトを行っていった。PL は 1 つのプロジェクトにつき 2~3 人設定することで、一人一人の負担を少なくできる上、幹部メンバー全員が PL を経験することができ、幹部メンバーとしての自覚も高まると考えられる。

2) 定例会・定練会

Code Orange では週に一度、昼休みの約 20 分間を使って、メンバー内での学習会を行っている。上半期の内容は、新メンバーが加わったということで、成人 BLS、小児 BLS、気道異物除去、体位変換を中心に、講義・実技を行った。そのほか、各イベントの報告・反省を行い、より良い講習会を作り上げるためにはどうすればいいのか、受講者アンケートの結果をもとに話し合った。

4. 医学部内での活動

1) 部活動講習会

昨年度同様、本年度も医学部学務課からの依頼に基づき、学生自治会と共同で、医学部学生を対象に BLS を行った。今年度は受講者 61 名に対し、16 名の構成員が講習を行った。また昨年度までは部活の所属人数に関わらず、各部活から同じ人数が受講していたが、今年度は多い部活からは 3 名、少ない部活からは 1 名とするなどして、なるべく多くの 2 年生に参加してもらえるような工夫をした。4 月に新しく加入したメンバーもインストラクターとして多数参加し、練習会で身に付けた知識や経験を存分に発揮した。受講者のほとんどが BLS を行うのが初めてであり、この講習会を通して医学教育に貢献することができた。



胸骨圧迫を教えている様子

2) 頌徳碑清掃

Code Orange では、サークル設立当初から月に 1 回頌徳碑の清掃活動を行っている。頌徳碑とは医学生の解剖学実習に対し、御献体して下さった方々の御遺骨が収められている場であり、医学生として、その方々への感謝の意を忘れてはならない、という思いからこのような活動を行っている。本年度も引き続き毎月 1 度、清掃活動を行い、常に医学生としての自覚を持ち続けるようにした。

5. 医学部外での活動, 及び市民に向けた活動

1) QCPR キャラバン

今期の新しいイベントの1つとして参加したもので、第18回日本臨床救急医学会総会・レールダルメディカルジャパン共催で開催される、質の高いCPRを啓蒙するためのイベントである。5人1組で15分間CPRを行い、審査員のジャッジを受けた。自分たちの行ったCPRが客観的に評価され、どこができていて、どこができていない部分なのかを再発見できる良い機会となった。



QCPR キャラバンで評価を受けている様子

2) ツール・ド・山口湾 2015

こちらも今年度新たに参加したイベントで、山口市阿知須で開催されたツール・ド・山口湾 2015 に救護ボランティアとして参加した。参加者がけがをした時や、緊急のときのためにのAED 救護班として待機したり、講習会を開いたりという盛りだくさんの内容であった。成人BLSのデモを参加者約300人と山口市長の前で披露させてもらうなど、市民の方との交流会を増やすことができ、BLSの重要性を発信できたことは非常に良い機会となった。今まで宇部市を中心として行ってきた活動を山口市でも行うことができたことは、コードオレンジの知名度が向上していると実感できた。



ステージでデモを披露している様子

3) 2nd Yamaguchi BLS&First Aid ワークショップ

2年前に初めて主催したワークショップの第2弾となるワークショップを行った。山口大学15人と他大学43人のインストラクターが集まり、受講者として参加した山口県内の学生が、成人BLSをはじめ、小児乳児BLSやFBAO、RICEや固定法などを学ぶワークショップとなった。県内の学生にBLSを普及させるだけでなく、他大学のインストラクターと交流できる貴重な機会となり、参加者と主催者の双方にメリットのある有意義なイベントとなった。



ワークショップ終了後の集合写真

4) 七夕祭

本年度も一般市民を対象としたBLS講習会と、BLSの基礎知識に関するクイズコーナーを設置した。小さな子供から年配の方まで幅広い年代の方々に対して講習を行った。特にクイズコーナーは好評で、楽しく学べるといった声が多かった一方、難易度に関しては簡単だという意見もあり、来年以降はより良いものに変えていきたい。

6. 2015年度下半期に向けて

今期は「growth」をテーマに掲げ、①メンバー教育の充実②地域に根ざした活動を行うことに重点を置いて活動している。①のメンバー教育の充実に関しては、定例会や各イベント前の練習会やQCPRキャラバンでのCPRの質の評価などで一定の成果があるものと考えられるが、全構成員がイベントに参加できているとは限らず、原則全員が参加することとなっている医学祭で、どこまでメンバーのレベルを高めていけるかが鍵となるだろう。②の地域に根ざした活動については、毎年の活動である七夕祭に加え、山口市でのイベントのボランティアや山口県内の学生を対象としたワークショップなどを行い、例年以上に地域に貢献できる活動を行うことができたと考えている。下半期にも宇部駅伝ボランティアなどの活動が予定されており、そこでも積極的に地域に密着した活動を行っていきたい。